

～人・自然・文化～島の宝が育つまち～

にしのおもてし 鹿児島県・西之表市（種子島）



【令和元年度 ふるさと納税（応援寄附金） 活用事業のご報告】

【安納いも発祥の地：西之表市】



「ふるさと納税」は自分の生まれ育った故郷はもちろん、応援したい自治体の**地域の力になりたいという思い**を実現し、「ふるさと」へ**貢献**するための制度です。

平成20年度に「ふるさと応援寄附金条例」を制定し、毎年、全国から温かいご支援を頂いております。

【西之表市シンボルマーク】 令和元年度の **寄附金の総額**は、**156,158,100 円**、
寄附件数は、**12,254 件**。

地域別では、北海道 351 件、東北 344 件、関東・甲信越 6,138 件、北陸 135 件、東海 1,381 件、関西 2,366 件、四国 214 件、中国 424 件、九州・沖縄 901 件となっております。

次の事業の財源として活用させていただきました。ご支援ありがとうございました。

【 地元産業の育成及び起業の支援に関する事業：6 事業 】

■安納いもバイオ苗増殖運営事業



●種子島高校生物生産科が増殖したバイオ苗（安納紅750本、安納こがね80本）を、市農業振興公社が再増殖を行い、生産者に対し健全苗を供給することで、収量確保及び品質安定を図る事業を行いました。

◎令和元年度：増殖用苗供給本数・39,530 本

■安納いも育苗資材支援事業

●安納いもの種子島ブランド化推進及び農家の経営安定・規模拡大を図るため、バイオ苗の自家増殖用育苗施設等に掛かる経費（労務費は除く）の一部を助成しました。

◎令和元年度：パイプハウス 5 件・6棟
本圃育苗用トンネル資材・1件

■農業人材力強化総合支援事業

●新規就農者の経営が不安定な就農初期の経済的負担を軽減するため、認定新規就農者が行う農業用機械・施設の整備（1/2以内で補助金を交付・50万円が上限）の支援を行いました。

令和元年度は、安城校区で養鶏を営む認定新規就農者の軽トラック導入に対し、助成金の交付を行いました。

■創業支援事業

●商工会や金融機関等と創業者の支援を行うため、創業支援ネットワークを立ち上げ、創業に必要な財務・税務等の基礎的知識の習得やビジネスプランの作成支援を行う創業スクールを開催しました。

◎令和元年度：スクール参加者9名（修了者3名）

■援農隊マッチング支援事業

●人口減少と高齢化により農業労働力が減少し農繁期には働き手が不足しているのが現状です。

市内農業者の労働力不足対策として機械作業以外の作業(ばれいしょ選別、安納いも収穫、肥料・農薬散布・草払い等)を手助けする援農隊(5名)マッチング支援事業を実施しました。



【安納いも育苗ハウスでの作業風景】

■特産品開発支援事業

●地元産農林水産物を利用した特産品開発の拠点として「特産品開発センターきらり」を設置し、地元農林水産物を利用した特産品の試作や試食会、販路開拓に関するセミナーを開催し、製造業者への支援を行いました。

【 市外との交流の推進に関する事業:1事業 】

■姉妹都市・友好都市記念事業



●本市と姉妹都市・友好都市盟約を締結する自治体とは、例年相互に、まつり等への参加を通じて、地域情報の発信に努めつつ、交流拡大の推進を図ってきました。

今年度は、第50回鉄砲祭りの開催に合わせて、ポルトガル共和国のヴィラ・ド・ビスポ市から、ソアレス市長、マルティンス議長、エルサ・ゴメス秘書室長、ジョアナ・シエンカーさん(2017ボディボード世界チャンピオン)が来島しました。

滞在中には、島内の見学、陶芸や茶道、墨絵などの日本文化を体験したり、こども園を訪問するなど、市民との交流を行いました。鉄砲まつり前夜祭「ポルトガルの夕べ」では、ソアレス市長が同市を紹介し、ポルトガルギターやマンドリンの演奏も行われました。まつり当日には、ソアレス市長が地元参加者と力強く太鼓山を担ぐ姿も見られました。今後も、市民交流、マリンスポーツ交流、歴史・文化交流などを中心に、自治体間の友好関係を築きます。

【 次世代を育成するための子育て支援に関する事業:2事業 】

■放課後児童健全育成事業

●就労などにより、昼間、保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊びと生活の場として児童クラブを設置し、児童の健全な育成を図りました。

【西之表市児童クラブ一覧】◎榕城児童クラブ◎若宮児童クラブ◎めいろう児童クラブ

◎風本児童クラブ◎古田っ子クラブ◎住吉児童クラブ◎国上児童クラブ



■子育て応援券支給事業

●本市では、赤ちゃんの出生をお祝いするとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、出生時と満1歳時に、乳幼児の衣食に係る商品と交換することのできる1枚・1,000円分の応援券を12枚(12,000円相当)支給しています。 ◎令和元年度:支給件数・169件 利用枚数・2,110枚

【 高齢者の生きがいづくり及び医療福祉に関する事業:4事業 】

■ウォーキング等推進事業

- 市民の健康づくり啓発のため、平成28年度から始まったウォーキング大会。
令和元年度は、すこやかフェスタ開催日・3月1日の予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となりました。



【 平成30年度開催時の様子:平成31年2月11日にわかさ公園にて実施 】

■敬老の日記念事業

- 西之表市在住の満88歳、満100歳、満101歳以上の高齢者の長寿を祝福するとともに、敬老の意を表し敬老金を支給しました。

- ◎満88歳:9月30日現在において満88歳である者・10,000円・112人
- ◎満100歳:その年度において満100歳になる者・50,000円・6人
- ◎満101歳以上:9月30日現在において満101歳以上である者・30,000円・9人

■高齢者はり・きゅう助成事業

- 本市に居住している後期高齢者医療被保険者を対象に、はり又はきゅうの施術料の一部を助成することにより、後期高齢者の健康保持と福祉の増進を図りました。

- ◎1日1回、1会計年度において1人60回以内を限度とし、施術1回につき600円を助成。
- ◎対象者:本市に居住している後期高齢者医療被保険者
- ◎実績人数等:51名(708回)

■老人クラブ育成事業



- 高齢者の生きがいづくりや健康づくりを推進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を目的に市老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助を行いました。

- ◎市老人クラブ連合会:480,000円
- ◎単位老人クラブ:1団体48,000円(28団体)

【 学校教育の充実、人材育成に関する事業:1事業 】

■図書館図書整備事業(小学校)

- 児童の多様な読書活動を推進するため、平成30年度から図書冊数を増やす「図書館図書整備事業」を実施しています。



- ◎令和元年度:国上小学校392冊
住吉小学校375冊
合計 767冊

※令和2年度も引き続き実施します。



【 循環型地域づくり及び環境保全に関する事業:5事業 】

■ウミガメ保護事業



●鹿児島県ウミガメ保護条例によりウミガメの保護を図るため、保護監視員による上陸・産卵・盗掘等の調査を行いました。

◎上陸頭数:64頭・産卵:43回・盗掘:なし

■花とみどりのまちづくり推進事業

●花や緑を活かした景観づくりに取り組んでいる地域や団体の活動を支援するため、花苗や種子、肥料などの提供を行いました。

花とみどりのまちづくり推進事業によって、市内各地に花がある風景が増え、市民や来訪者に喜ばれています。



■ごみ減量化推進事業

●生ごみ減量化を推進するため、家庭用生ごみ処理機の設置に対する補助及び食べ残しを少なくする取組として市内の飲食店舗(協力店舗)に30・10運動(30:乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しむ、10:お開き前10分間は、自席に戻り残った料理を食べきる)の卓上立札を作成し、配布しました。

◎令和元年度:コンポスト12件
電動生ごみ処理機2件



■酪農スラリー堆肥化推進事業

●本市の分散型エネルギーインフラプロジェクトマスタープランにおいて、有機廃棄物系バイオマスを活用したバイオガス発電施設導入による循環型社会の構築について検討を行っています。

その主原料として期待されているのが酪農で発生するスラリー(液状糞尿)です。

バイオガス発電の過程で発生する消化液には、肥料成分が多量に含まれていることから、本市で栽培されている主要作物の液肥として活用できないか検証を行いました。

■海岸漂着物地域対策推進事業

●市内海岸線の環境美化のため、作業員を雇用し、鹿児島県において定められた重点区域を中心とした、市内17か所の海岸において漂着物の回収を行い、可燃物、不燃物に分別のうえ、種子島清掃センター及び民間の施設で処理を行いました。不法投棄の監視及び海岸漂着物等の漂着状況等の監視を目的とした巡視を月2回程度実施しました。事業実施期間6月～3月のうち、6月～1月については県補助が9割、2月～3月については市単独事業として「ふるさと納税を」活用しました。

【 集落の維持・機能強化に関する事業:1事業 】

■集落体制推進事業

●本市には12小学校区ありますが、各小学校区の抱えている課題は多様であり、各小学校区の区長さんを中心に地域の維持・活性化に向けた自治がなされています。



【高齢者を講師とした郷土料理教室】

本事業は、各小学校区の実情に応じた維持・活性化に向けた取組を推進するために、地域に精通した集落支援員を配置し、地域内の目配り・気配り役として、課題の掘り起こし、課題解決に向けた話し合いの実施、行政との橋渡し、新たな地域おこしグループの起ち上げなどを行っています。

令和元年度は、12小学校区のうち、榕城校区・上西校区・下西校区・国上校区・安納校区・現和校区・安城校区・古田校区の8校区に集落支援員を配置し、校区の実情に応じた様々な活動を展開しています。

【 その他・市民福祉向上のために市長が必要と認める事業:7事業 】

■西之表市史編さん事業



●市民が郷土の歴史を知り、本市の歴史文化や文化財、自然に対する誇りと愛着を深めるため、編さんのための各種会議を開催しました。

今後も専門家等による史資料調査・収集、原稿執筆により『西之表市史』の編さん・発行を行います。令和元年度は、本市に関連する書籍等を18冊購入するとともに、1月、2月には編さん状況の報告を兼ねた講演会を計2回開催しました。当日は、180人の市民が来場し、本市の自然や歴史について学ぶ良い機会となりました。

■歴史文化活用事業

●市民や観光客にあまり知られていない本市の歴史や文化、偉人に関連したイベント、啓発を行うことで、本市が有する歴史文化資源の魅力を知ってもらう事業を行いました。

令和元年度は、大阪大学湯浅教授による「西村天囚講演会」を8月に開催、1月には名桜大学屋良准教授とゼミ生が来島し、「近世(江戸期)における種子島と沖縄の交流の歴史」についてフィールドワークを行い、成果発表会を行いました。参加者は約30人。



■婚活応援プロジェクト事業

●独身男女を対象に、婚活イベント等の結婚観の動機づけとなる場を提供し、成婚率の向上を図る婚活応援プロジェクト事業を行いました。令和元年度は、市内の企業の株式会社SOMESへ委託し、種子島の魅力を盛り込んだイベントを10月、12月、1月の計3回開催しました。

全イベントで女性22名、男性24名の計46名の参加があり、15組のカップルが誕生しました。



■種子島アロハフェスタ事業



●全国のフラダンスやタヒチダンス愛好家との交流を図り、交流人口増加のため、種子島アロハフェスタを運営する、種子島アロハフェスタ実行委員会を支援しました。

初めて実行委員会単独での開催となりましたが、島内はもちろん、島外からも多くの参加がありました。

◎入場者:591名

◎エキシビジョン参加者:202名(島外31名)

■港町再生検討推進事業

●西之表港の后背地として発展してきた中心市街地にて、「世代を超えたふれあいによって宝をはぐくむみなとまち」を目指し、多世代交流が促される仕組みや場所の整備について市民が参加した検討組織で協議を行いました。



【検討結果のイメージ】

■ボランティア清掃事業

●市では、環境美化についての関心と理解を深めるため、5月の第3日曜日と12月の第3日曜日を「環境美化の日」として定めております。市民総参加の海岸清掃・道路清掃を通して、海岸線に漂着したごみや捨てられたごみなどを知ることによって、ごみに対する考え方や自然を守ることの大切さを学ぼうとするものです。ポイ捨てや不法投棄などを市民みんなですくなくしていく運動をさらに強めていきたいと考えています。

◎市民一斉道路清掃を12月15日に実施。※市民一斉海岸清掃(5/19 予定)は悪天候のため中止。

◎団体・個人が自主的に行う清掃活動への支援として、ごみ袋の配布を行いました。

■教育用コンピューター導入事業

●子どもたちに情報化社会に対応できる資質と能力を育むために、学校のICT環境の整備を進めています。平成30年度のタブレット型端末の導入に続いて、令和元年度はセンターサーバーの設置により学校のネットワーク整備及び情報セキュリティ強化を行いました。このことにより、全校への校務支援システムの導入を行い、教職員の業務改善を図ったことで子どもに向き合う時間が生み出され、教育の質をさらに向上させることができました。今後も、本事業をとおして児童生徒1人1台端末の実現を目指し、ICT環境の一層の充実を努めてまいります。

令和2年度も引き続き、**熱いご支援**を賜りますようお願い申し上げます。

ふるさと納税で、
～西之表(にしのおもて)が元気に!～

【ふるさと納税(応援寄附金)のお願い】

【学校教育の充実を図る取組を推進します】



西之表市長
八板 俊輔

●子育て支援に関する事業はもちろんのこと、次世代の人材育成に関する事業、特に、**学校教育の充実を図る取組を推進**してまいります。

児童の多様な読書活動を推進するための「図書館図書整備事業(小学校)」を令和元年度に引き続き実施します。

令和2年度は国上小、住吉小をはじめ、全小学校を対象に図書冊数を増やします。

●このほか、ICT(情報通信技術)を活用した教育は、今後ますます重要性が高まることから、子どもたちに情報化社会に対応する資質と能力を育むために、児童生徒1人1台端末を実現し、ICT環境の一層の充実を図ってまいります。

西之表市は、九州南端の大隅半島から約40kmの沖合にある鉄砲伝来やロケットで有名な種子島の北部にあるまちです。種子島の豊かな大地が育んだ「安納いも」をはじめ、「島の宝」をお届けします。

【連絡先】鹿児島県・種子島 西之表市(にしのおもてし)

経済観光課ふるさと納税推進係

☎:0997-22-1111 内線(275)

FAX:0997-24-3111

係 mail: furusato@city.nishinoomote.lg.jp



【ふるさと納税のご案内】